

令和7年度 伊勢原市児童発達支援センターおおきな樹 アンケート集計結果【保護者向け】

公表日:令和7年3月23日

事業所名:伊勢原市児童発達支援センターおおきな樹

保護者等数(児童数) 26名 回収数 18件 割合 69%

区分	質問事項	現状評価(実施状況・工夫点等)	評価結果				ご意見	保護者評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	・園庭のスペースは十分に確保されています。 ・活動室については、活動状況により狭くなる場合は、パーテーションの活用をしています。	13	4	1		・日々の活動等のスペースは確保されているように思う。 ・運動会等の全学年合同の発表の場が狭い。 ・ちょっと園庭が狭いが、散歩先の公園がスペースの確保になっていると思う。	⇒全学年合同行事については、地域の体育館や公共施設の利用を検討します。 ⇒日々の活動では近隣公園を積極的に活用し、安全面に配慮しながら十分な運動機会を確保します。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	・職員配置は法令上の規定人員よりも多く配置をしています。 ・保育士、児童指導員、公認心理師、言語聴覚士など専門職員を配置し、多角的な視点からの支援体制を整えています。	15	3			・しかたないが、手がかかる子に付きっきりになっている ・クラスの数に対して先生方の人数は十分なように思う。専門職の先生による個別支援も始まってありがたいが、人数や出勤日など増える支援の頻度も増えて良いと思う。	⇒公認心理師・言語聴覚士による個別支援の実施状況を連絡帳や面談で定期的に報告します。 ⇒特定の児童だけでなく全体に目が届くチーム連携を強化します。
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境(※1)になっているか。また、特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか(※1 この部屋で何をやるのかをさせるように、机や本棚の配置なども本人にわかりやすくすることです)	・一日の予定や流れを絵や文字など視覚支援を用いて支援しています。朝の身支度や排泄なども導線わかりやすくし、パーテーションを用いるなどして室内を遊びと生活のスペースに分ける等工夫をしています。 ・建物が古く、バリアフリー化や機能的な空間とは言えませんが、清潔に保ち、お子さんが安全に活動できるよう工夫をしています。	16	2			・絵カード等による視覚支援は自宅でも参考になっている。 ・バリアフリー化はされていない。	⇒建物の構造上の制約はありますが、職員による介助や動線の工夫など、ソフト面での安全対策を徹底します。
	4 清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1日2回の検温実施を継続しており、体調管理と教室内遊具、車内等を日々消毒を実施し、ウイルス感染拡大の防止を図っています。 ・施設の経年劣化は課題ですが、日々の清掃を徹底し、子どもたちが安心して過ごせる環境維持に努めています。	14	3	1		・建物が古い。 ・失火ながら、洗濯機は綺麗にしたほうが良いと思う。	⇒ご指摘いただいた洗濯機については直ちに清掃を行ない、定期的な清掃を業務スケジュールに組み込みます。 ⇒施設の老朽化については行政と計画的な修繕を進めます。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画(※2)が作成されているか(※2児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは児童発達支援管理責任者が作成します。)	・定期的に児童発達支援管理責任者、クラス担当が保護者面談を行ない、保護者の方のニーズを確認しています。 ・希望に応じて面談回数を増やすことも行なっています。 ・お子さんの状態や保護者の要望を丁寧に聞き取り、個別支援計画に反映させています。	18					⇒個別支援計画の説明時に具体的な支援場面の例を示し、保護者がイメージしやすい説明を心がけます。
	6 個別支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	・児童発達支援管理責任者、クラス担当職員、相談支援専門員が会議に参加し、5領域を踏まえお子さんの発達を確認しながらスモールステップを意識し個別支援計画を作成しています。	18					⇒集団活動内における個別支援の内容を保護者の方がイメージできるように細かくお伝えします。
	7 個別支援計画に沿った支援が行われているか	個別支援計画をクラス担当職員が周知し、計画に沿った支援を行なうよう努力しています。職員間で計画内容を共有し、一貫した支援が提供できるよう取り組んでいます。	17			1		⇒マチコミによる日々の課題の様子等を引き続き配信します。
	8 活動プログラム(※3)が固定しないよう工夫されているか(※3事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されています。)	・年間を通して様々な経験ができるように月毎に活動プログラムを設定しています。また、状況に応じて適宜変更するなどの対応も行なっています。 ・子どもの発達段階や興味に合わせて柔軟にプログラムを調整しています。	17			1	・繰り返し行われている課題について、子どもごとの目標や難易度の違いが分かると、より成長の様子を実感しやすいと感じました。	⇒同じ活動でも個々の到達目標が異なることを連絡帳や面談にて説明します。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、一緒に活動する機会があるか	・現状では、一緒に活動する機会の予定はありませんでした。	2		15	1	・年長クラスになったらあってもいいと思う。小学校へ入ってからが大変になりそう。 ・年長児は就学に向けて、他の園児と交流する機会があった方が良いのではないかと。 ・就学前に地域の幼稚園等との交流の機会を是非作って欲しい。	⇒保育園、幼稚園、学校等との交流プログラムの実施に向けて、市役所関係部署との協議検討を行ないたい。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	契約時の重要事項説明においてご説明をしています。また変更があった場合は文書等にてお知らせしています。保護者が安心して利用できるよう、制度や料金について分かりやすい説明を心がけています。	18				・報酬改定など制度の変更があった際には、園の運営への影響や利用者負担の有無について簡単でも共有があると、より安心して利用できると感じました。	⇒報酬改定や制度変更があった際には、保護者向けの説明を行ないたい。	

令和7年度 伊勢原市児童発達支援センターおおきな樹 アンケート集計結果【保護者向け】

公表日:令和7年3月23日

事業所名:伊勢原市児童発達支援センターおおきな樹

保護者等数(児童数) 26名 回収数 18件 割合 69%

区分	質問事項	現状評価(実施状況・工夫点等)	評価結果				ご意見	保護者評価を踏まえた改善 目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
保護者 への 説明 等	11 保護者に対して家庭支援プログラム(ペアレントトレーニング※4等)が行われているか (※4保護者が子どもの行動を観察して発達の特徴を理解したり、特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。)	・個別面談や心理検査の報告等を通してお子さんの傾向や特性に応じた関わり方をお伝えするように心掛けています。 ・保護者向け勉強会を開催し、家庭での支助力向上を支援しています。	18				・勉強会等に参加できる機会があり、とてもありがたく感じています。今後も日程等も含め、さまざまなご家庭が参加しやすい形が続くと良いと思います。	⇒引き続き勉強会を開催するとともに開催日時を検討します。
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができていくか	・保護者面談、連絡帳、電話、マチコミ、ホームページにてギャラリーへの写真添付、送迎時などを通して保護者の方と日頃の様子を伝え合う工夫をしています。 ・複数の手段を活用し、園と家庭の連携を図っています。	15	3			・共通理解という点では、保護者が伝えたことズレを感じる事が多いです。 ・気軽に先生方とコミュニケーションが取れたら良いと思います。園と家庭での様子の情報共有にもなりますし、特に年長児は就学に向けて不安もあるので、話せる時間が少しでもあると、不安解消に繋がるかなと思います。 ・送迎時にその日の様子を伝えて下さるので感謝しています。 ・連絡帳、面談、電話等で情報共有はできている。送迎時に必ず一言エピソードを伝えてくださる先生がいて嬉しいです!	⇒保護者からの相談内容と園の対応を記録・共有することで認識のズレを防ぎます。
	13 定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	・入園後は2か月間毎月面談を行ない、その後は児童発達管理責任者、クラス担当職員の個別面談や心理検査の報告等を通してお子さんの傾向や特性に応じた関わり方をお伝えするように心掛けています。	17	1			・定期的なクラス面談はしていただいているが、回数が年少の時より減って半年に一回なので、次の面談まで園生活の中での詳しい様子や発達の状況が気になることもあります。	⇒定期面談の回数を見直すとともに面談以外でも随時相談を受け付けます。
	14 父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	・保護者懇談会や勉強会の開催また試食会の実施など、保護者間の交流を図りました。 ・保護者同士が情報交換等を共有できる機会を提供しています。	15	2	1		・もっと増やして欲しい! ・保護者会は参加率が悪い、とくに父親の参加や理解が低い。 ・2月の保護者懇談会は違う学年の保護者の方とも繋がりが生まれる良い機会だったので、年度のうち少し早い時期にもあって欲しいなと思いました。(特に年長さんの保護者の方とは交流が生まれてもすぐ卒園になってしまうので)	⇒保護者懇談会を早期に開催し保護者間の繋がりを作ります。 ⇒父親も参加しやすい土曜日開催やオンライン参加の選択肢も検討します。
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れがあった際に迅速かつ適切に対応しているか	・面談希望があった場合は迅速に日程調整を行ない対応しました。 ・また連絡帳などで相談があった際には電話や臨時の面談を行い対応しました。 ・保護者からの相談には速やかに応じ、丁寧な対応を心がけています。	17	1			・保護者からの意見に対し、対応策を迅速に検討し、実施して頂けると幸いです。	⇒引き続き、相談から対応までのプロセスを保護者に分かりやすく説明します。
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	・マチコミ配信やHPの活用などなるべく情報提供に努めるとともに支援後保護者へ情報の共有を図りました。 ・複数の伝達手段を活用し、確実に情報が届くよう配慮しています。	16	1		1	・自力送迎の際、離れるときに泣いたり大泣きした時がありました。保護者と離れたあとの様子を送迎児や連絡ノートで一報があると安心します。	⇒登園時に保護者と離れる際に子どもが泣いたり泣いたりした場合は、その後の様子を連絡帳に記載するか、降園時に口頭で伝えます。
	17 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を、子どもや保護者に対して発信されているか	・園だより、献立表、課題表などマチコミ、ホームページにて周知しました。行事の予定や変更、積雪、台風時の開園状況などもマチコミにて配信しました。 ・定期的な情報発信に加え、緊急時には迅速に情報提供を行っています。	18					⇒今後もマチコミ配信とともに新しい写真配信システムを活用し、情報発信を行ないます。
	18 個人情報の取扱いに十分注意されているか	・個人情報管理している箇所には鍵を付けるなどの対応をして、十分に注意しています。 ・職員への個人情報保護の周知徹底を図り、適切な管理体制を維持しています。	17			1		⇒今後も個人情報の取り扱いには十分配慮します。
非常 時の 対応	19 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか、また、発生を想定した訓練が実施されているか	・各種マニュアルを作成し、発生を想定した訓練を重ねています。訓練内容など園だよりなどでお伝えしています。 ・緊急時対応、防犯、感染症対応の各マニュアルを整備し、職員への周知と定期的な訓練を実施しています。	15	2		1		⇒マニュアルに沿って、職員間で共有し、保護者に対して周知・説明をしていきたいと思っています。
	20 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	・定期的(毎月)に地震と火事を想定した訓練を行っています。 ・様々な災害場面を想定し、子どもたちが安全に避難できるよう繰り返し訓練を実施しています。	18					⇒引き続き毎月の防災訓練と引き取り訓練を実施します。

令和7年度 伊勢原市児童発達支援センターおおきな樹 アンケート集計結果【保護者向け】

公表日:令和7年3月23日

事業所名:伊勢原市児童発達支援センターおおきな樹

保護者等数(児童数) 26名 回収数 18件 割合 69%

区分	質問事項	現状評価(実施状況・工夫点等)	評価結果				ご意見	保護者評価を踏まえた改善 目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
満足度	21 子どもは通所を楽しみにしているか	・それぞれのお子さんの発達段階に応じて、楽しく参加できるように工夫を重ねています。 ・またお子さんが安心して登園できるように職員は常に笑顔で迎え、一緒に泣いたり笑ったり、一日を楽しく過ごせるように心掛けています。	14	4				⇒お子さんが楽しく通園できるように、課題設定や職員の声掛け、対応を常に研修し、支援技術の向上を図ります。
	22 事業所の支援に満足しているか	・個別支援計画に基づく支援、保護者との密な連携、専門職による支援など、総合的な支援体制を整えています。 ・保護者からのフィードバックを真摯に受け止め、継続的な改善に取り組んでいます。 ・入園時と比較してお子さんの成長を実感していただけるよう、丁寧な支援と情報共有を心がけています。	16	1	1		・相談や支援計画等はしっかりされているが、専門性のあることについて専門家が対応していない。心理、言語聴覚士がいて 子どもをみている といっても、 個別に対応をしたなどの報告がない 。 ・入園時は、離席が多く、発音も単語程度でしたが、今では言葉でのやり取りが上手になりました。ありがとうございました。 ・幼稚園との併用期間を半年ではなく、1年など、延長できると、より子どもが安心して馴染めると思う。	⇒公認心理師・言語聴覚士による 個別支援を実施した際は、連絡帳や面談で内容と成果を保護者に報告します 。 ⇒幼稚園併用期間については、個別のケースに応じて柔軟に対応できるよう関係機関と検討します。
	自由記載欄						・小学校入学にあたり SSI等に力をいれてもらいたい 。 ・見学時の一場面での印象ですが、活動によっては順番待ちの時間が長くなることもあるように感じました。活動の回数や時間の使い方を工夫することで、より良い活動につながるのではと思います。また、ダンス活動については、一曲まるまるでは集中が難しい子どももいるため、振り付けを簡素化した形も良いのではと感じました。 ・日々のようすで、子どもの言葉や表情、様子を細かく書いて下さるので感謝しています。 ・今年度は、保護者2名行事に参加できたので嬉しかったです。 ・ 欲しかった情報のアナウンスがなく、とても残念に思った 。 ・発達障害やASDについて学びの場があると嬉しい。 ・いつもありがとうございます。とても感謝しています。	⇒課題については、課題内容をお子さんの状態に合わせて調整します。 ⇒重要な情報は複数の方法で確実に伝わるよう周知方法を改善します。